

令和07年03月28日

社会資本総合整備計画												事後評価書															
計画の名称		九州南部地域における広域観光活性化計画																									
計画の期間		平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当															
交付対象		鹿児島県																									
計画の目標		九州南部地域（宮崎県，鹿児島県）においては，宮崎空港や鹿児島空港の空ルート，宮崎港，油津港，鹿児島港や志布志港の海ルートを経て，鉄道や高速道路等の幹線道路を利用した「温泉アイランド九州広域観光周遊ルート」等の観光周遊ルートが形成されており，県内外から多くの観光客が訪れている。また大型クルーズ船の九州への寄港回数が増えたことにより，外国人観光客を含めた圏域外利用者が訪れている。東九州自動車道（清武南IC～鹿屋串良JCT）の段階的な開通と併せて既存交通網と連携強化を図ることで，九州南部地域の更なる観光客増加が期待されるなか，温暖な気候を活かしたスポーツキャンプの誘致による観光推進など，食・自然・文化・歴史など各地域の特徴を活かした滞在型観光にも力を入れているところである。ユネスコパークに登録されている「綾地域」や日本ジオパークに登録されている「霧島地域」などの雄大な自然景観を有している九州南部地域にて，周辺の温泉や登山，歴史散策といった滞在型観光の魅力を情報発信する，関係自治体や地元観光協会等と連携した，これら景勝地へのルート整備を行うことで観光宿泊客数を増大させ，観光活性化を図る。																									
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		2,050		A		2,050		B		0		C		0		D		0		効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0		%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28	H32	H34
1	・【宮崎県・鹿児島県 共通目標】観光宿泊客数414.8万人から436.9万人（H34）に増加 （22.1万人（5.3％）の増加）			
	・【宮崎県・鹿児島県 共通目標】観光宿泊客数414.8万人から436.9万人（H34）に増加 （22.1万人の増加） （観光宿泊客数の増加割合）＝（評価時点の観光宿泊客数－H28の年間観光宿泊客数）／（H28の年間観光宿泊客数）	414万人	428万人	436万人
2	・鹿児島県（指宿市，霧島市）における観光宿泊客数169.8万人から179.6万人（H34）に増加 （9.8万人（5.8％）の増加）			
	・鹿児島県（指宿市，霧島市）における観光宿泊客数169.8万人から179.6万人（H34）に増加 （9.8万人の増加） （観光宿泊客数の増加割合）＝（評価時点の観光宿泊客数－H28の年間観光宿泊客数）／（H28の年間観光宿泊客数）	169万人	175万人	179万人
3	・鹿児島県（指宿市，霧島市）における観光入込み客数267.2万人から282.6万人（H34）に増加 （15.4万人（5.8％）の増加）			
	・鹿児島県（指宿市，霧島市）における観光入込み客数267.2万人から282.6万人（H34）に増加 （15.4万人の増加） （観光入込み客数の増加割合）＝（評価時点の観光入込み客数－H28の年間観光入込み客数）／（H28の年間観光入込み客数）	267万人	276万人	282万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-001	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（主）指宿鹿児島インタ ー線 池田工区	現道拡幅 L=2.3km	指宿市	■	■	■	■	■	950		-	
	A11-002	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）犬飼霧島神宮停車 場線 安楽工区	現道拡幅 L=0.6km	霧島市	■	■	■	■	■	800		-	
	A11-003	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（主）国分霧島線 田口 工区	現道拡幅 L=0.9km	霧島市	■	■	■	■	■	300		-	
												小計						2,050		
											合計							2,050		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 鹿児島県土木部にて評価を実施 学識経験者等の意見聴取	事後評価の実施時期 令和 7 年 3 月
	公表の方法 鹿児島県ホームページに掲載

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・限られた予算の中、事業箇所により優先順位をつけ予算配分し道路整備を進めたことで、観光拠点へのアクセス性が向上し、令和 2 年から令和 5 年には観光宿泊客数が 265 万人から 386 万人へ増加するなど観光振興による広域的な地域活性化へ寄与したと考えられる。 【本事業で発現される効果】 ・A11-001：（主）指宿鹿児島インター線 池田工区の整備により線形不良区間を解消したことで拠点施設であるフラワーパークかごしまへのアクセス時間が約 1 分短縮され、周遊効率性の向上が図られた。 出典：鹿児島県観光統計（R5）
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

・未完了の事業については、本計画完了後も引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し道路整備を進め本地域の観光活性化を図る。 【未完了事業】 ：A11-002，A11-003

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	【宮崎県・鹿児島県 共通目標】観光宿泊客数414.8万人から436.9万人（H34）に増加（22.1万人（5.3%）の増加）		
	最 終 目 標 値	436万人	宮崎県及び鹿児島県における観光宿泊客数は、最終実績値は324万人となり最終目標値は達成できなかったが、R2年末時点の中間評価265万人よりも121万人（46%）増加した。最終目標値が達成できなかった理由としては、新型コロナウイルス感染症が蔓延したことが要因として考えられる。出典：鹿児島県観光統計（R5）
	最 終 実 績 値	386万人	
2	鹿児島県（指宿市，霧島市）における観光宿泊客数169.8万人から179.6万人（H34）に増加（9.8万人（5.8%）の増加）		
	最 終 目 標 値	179万人	指宿市，霧島市における観光宿泊客数は、最終実績値は117万人となり最終目標値は達成できなかったが、R2年末時点の中間評価109万人よりも43万人（39%）増加した。最終目標値が達成できなかった理由としては、新型コロナウイルス感染症が蔓延したことが要因として考えられる。出典：鹿児島県観光統計（R5）
	最 終 実 績 値	152万人	
3	鹿児島県（指宿市，霧島市）における観光入込み客数267.2万人から282.6万人（H34）に増加（15.4万人（5.8%）の増加）		
	最 終 目 標 値	282万人	鹿児島県圏域（拠点施設）における観光入込客数は、最終実績値は229万人となり最終目標値は達成できなかったが、R2年末時点の中間評価193万人よりも64万人（33%）増加した。最終目標値が達成できなかった理由としては、新型コロナウイルス感染症が蔓延したことが要因として考えられる。出典：霧島市・指宿市資料（R5）
	最 終 実 績 値	257万人	